

令和2年6月26日

各校剣道部顧問 殿

剣道部の部活動再開に向けて（お願い）

神奈川県高体連剣道専門部

剣道は競技の特性上、三密（密閉、密集、密接）になりやすく、また向かい合って発声することから飛沫感染のリスクを伴うため、新型コロナウイルスの感染防止が他競技よりも難しくなっております。さらにこれから暑い季節を迎え、熱中症などの事故のリスクも高くなってきます。

つきましては、次の2点についてご確認いただき、安全に活動できるようご配慮をお願いいたします。

1 感染予防対策について

全日本剣道連盟の「対人稽古再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」に沿って行うこと。

（全日本剣道連盟 <https://www.kendo.or.jp>）

〈抜粋〉

- ・対人稽古の際には、面マスクの着用が必須、またシールドの装着も推奨。
- ・稽古での発声は極力抑制する。鏝競り合いは避ける。など

※今後ガイドラインについては変更される場合もあります。

2 熱中症の防止

面マスクを着用すると熱中症のリスクが高まるため、稽古時間の短縮や休憩時間を多めに設定する。気温が高い日は対人稽古を控えるなどの対策をとり、事故防止に努める。

その他は、県教育委員会より発出される「部活動ガイドライン」に基づいて活動計画を立ててください。

〈お願い〉

全日本剣道連盟より全国高体連剣道専門部を通して、剣道の稽古中に熱中症が発生した場合は報告を依頼されておりますのでご協力ください。（既出HP参照）

※同様の文書を各校宛にメールまたは郵送いたします。